



「援農」 活動状況

- 現在の会員数は ちょうど 150 人・団体。
 - そのうち 10月の援農に直接参加いただいた方は 46 人でした。
 - 作業品質についての 残念な事例が生じました。農家・市民相互間で作業前確認につきまして より ご配慮下さい。
- 10月の援農時間 1393 h / 参加者 46 人
(9月 1406h 8月 1833h 7月 1658h)

10 月 度 理 事 会 よ り

10月23日(金) 18:00~21:00 浅川市民センター

- ① 「農家別 援農者のグループ化と窓口設置制」の 運用状況について
- ② 「援農規程」の一部見直しについて —エンジン草刈り機 耕耘機の扱い
- ③ 新規加入申請のあった農家について — 応援者の募集へ
- ④ 新設「コスモスふぁーむ」農園の現況報告— 18/23 区画 申込み有
- ⑤ 「JA 農業祭」への 参加について — 参加申込み 販売品の確認 等

グループ制導入3カ月

援農サポーター 酒井敏夫

援農体験記

①8月 始めたばかりで、呼びかけ方法が効率的でなく、ダブル呼びかけが目立った。特に桑の葉収穫時。 ②9月 応募者の足の面倒を見れなくなり、バイク・車の応募者のみ声かけしてました。一斉呼びかけは効果がほとんどないことがわかりました。 ③10月 8月9月の実績者への呼びかけだけで応募者が出てくれて時間が掛からなくなりました。 ④農家対応 私自身が援農参加。作業の性格と農家の性格をほぼ把握しないと、人員手配にミスマッチング起こす。 ⑤農家によっては、すずしろ22以外に戦力を確保しているところあり、その聞き出しで 無理な呼びかけが要らないことあり。 ⑥サポーター 実績集計が主な仕事で、新人の面倒はありませんでした。 ⑦農家の関心 顔なじみの作業性高い人に固定したいのが山々で、スポット作業にも誰が来るのか関心が高い。ここにグループ制を生かしたい。

農園 便り

清水 義秋

「健土 健民」という思想 (黒沢西蔵 著)より
地下資源の如きものは自ずから寿命がある。しかし 土には寿命はなくその生命力を育てれば無尽蔵の資源となる。この大地を相手とし これを健康に育てること これが 愛土である。愛土から生まれる健土 ここから初めて健康な食物が穫れこれを食してこそ健民が育つ。

「野菜作りは土づくりから」といわれるくらい よい野菜を作るには土壌のよしあしがポイントです。肥えた土というのは有機物の多い土のことです。有機物が多い—土壌の微生物増加—土の粒子の団粒化(気相が多い) — 肥料持ちの良い土壌となります。これから落ち葉のシーズンです。枯葉に日々家庭から出る野菜クズ等を混ぜて堆肥作りにチャレンジされては いかがでしょうか。

「傾いて 一気にこぼす 芋の露」 (N H K 昼のいこい)



実りの秋

天高く
里芋・大根
収穫まちか

収穫の秋

洗われて
出荷待ち大根
数えて22本 ?



チョッと耳にした情報・アトハイス

- (1) いちじく … 11月に入っても 一部品種は 収穫可能
今年は 市内でも 豊作だったとのこと。「大きな葉の 一枚ごとに一つの果実が 実る」「毎日 一つの軸に一つの 実が なるので イチジク」とか
- (2) カツオ菜 … 八王子市内の農家さんも栽培されていました
高菜の仲間。魚のカツオのように「旨み」があることから かつお菜と呼ばれているとか。「福岡博多では雑煮の定番」
- (3) エンジン草刈り機 講習会 … 実使用時は 一段の注意を
新設小比企の『コスモスふぁーむ』で開催された講習会には
ベテラン会員さんも参加。「前方15mまでは 飛散物に注意」



事務局からのお知らせ

人材—農家需要と市民

- (1) ♪ しずかな しずかな 里の秋 おせどに木の実の・・・ ♪
朝方は寒さを感じ 日中は汗ばむほどの日もあり 体調管理に工夫が求められています。季節は確実に 冬にむかっています。ご自愛されて 援農へ 参加願います。
- (2) トマト苗の 誘引作業
ハウス内トマト苗の誘引作業で 結果的に 根まで持ち上がってしまったという事例が生じました。農家さんとの事前説明・確認と作業時の注意につき 引き続き配慮方。
- (3) 草刈り機 講習会場 と 食用桑 の風景
『コスモスふぁーむ』の草刈りを 実習。
10名の方に 参加いただきました。

